

## 第 8 章

### 労働委員会活性化に向けた取組

## 第8章 労働委員会活性化に向けた取組

近年、雇用形態の多様化による非正規雇用労働者の割合の増大や、労働者に長時間労働等の過酷な労働を強いるブラック企業の社会問題化等により、労働を取り巻く環境は大きく変化しており、その中で生じる労使紛争もより複雑化、多様化している。

また、労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会の実現に向け、平成30年6月に働き方改革関連法が成立し、平成31年4月からは順次施行されるなど、今後も労働を取り巻く環境の大きな変化が見込まれる。

こうした中で、労働委員会が労使紛争の未然防止や早期、円満な解決のためにその役割をより一層発揮できるよう、労働委員会活性化に向けた取組を行った。

### 1 広報・周知活動

- (1) 電話、来所等による労働相談の窓口を周知するため、労働相談専用のホームページやテレビ・ラジオ30秒スポット放送（県政広報枠により随時放送）等により広報した。

また、広報用のチラシを県内全ての市町村に配付し周知を図った。

- (2) 「労働困りごと相談会」を7月に実施するとともに、当該相談会の開催について以下のとおり広報した。

- ・地元新聞社を職員が訪問し、当該相談会を広報した。

[掲載実績]

新聞名	掲載年月日	告知内容
福島民報 福島民友	R1. 6. 28 R1. 7. 4	労働困りごと相談会開催のお知らせ

- ・市町村広報誌、各種情報誌等に当該相談会の記事掲載を依頼した。

[掲載実績]

掲 載	告 知 内 容	延べ掲載数
市町村広報誌	労働困りごと相談会開催のお知らせ	4市6町6村
各種情報誌	労働困りごと相談会開催のお知らせ	6誌

- ・ふくしまFM放送局の「キビタンスマイル～ふくしまから チャレンジはじめよう。～」(6月17日の午後5時半から放送)に職員が出演して広報した。
- ・テレビ・ラジオ30秒スポット放送（県政広報枠により随時放送）やホームページにより広報した。

- ・関係機関（労働局、労働組合、経営者協会等）へ広報を依頼した。
- ・県が包括連携協定を締結しているスーパー等にポスターを掲示

告知内容	店舗
労働困りごと相談会のご案内	イトーヨーカドー(福島店) ヨークベニマル(門田店)

[相談会広報用ポスター(7月開催)]

## 2 委員の資質向上に関する取組～研修会の開催～

委員の資質向上に資するため、総会の開催に合わせ研修会を実施し、講師(委員又は外部講師)による講演や諸会議の議題の検討を行った。

[講師による講演実績]

年月日	演 題	講 師
H31. 1. 22	職場における人権問題と法務省の人権擁護機関の活動について	福島地方法務局 人権擁護課課長 小池 正大 氏
H31. 3. 26	職場のメンタルヘルスとハラスメント	特定社会保険労務士 二瓶 優子 氏
R1. 5. 28	企業における労使関係の構築について (アルプスアルパインの事例)	千歳 芳雄 委員 (使用者委員)
R1. 7. 23	パーソナリティ障害との付き合い方～距離感と枠組みづくり～	福島県立医科大学医学部 臨床心理士 松本 貴智 氏
R1. 8. 27	福島県内の労働情勢とそれに対する労働基準監督行政の取組事例について	福島労働局労働基準部 監督課長 上野 諭 氏
R1. 9. 24	民事訴訟ってこんな感じ	駒田 晋一 委員 (公益委員)

### 3 労働紛争の未然防止に関する取組～ワークルール出前講座の実施～

就職前の大学生、高校生などを対象に、労使紛争の未然防止を図るため労働に関する基本的な知識（ワークルール）を講義するワークルール出前講座を実施した。

#### (1) 開催実績

	学 校 名	年月日	講 師	受講者数
1	県立遠野高等学校	H31. 1. 11	千歳 芳雄 委員 (使用者委員)	42名
2	県立相馬農業高等学校	H31. 1. 23	八巻 由美 委員 (労働者委員)	69名
3	県立勿来工業高等学校	H31. 1. 29	千歳 芳雄 委員 (使用者委員)	214名
4	県立須賀川高等学校	H31. 1. 29	坂路 芳知 委員 (労働者委員)	61名
5	県立安積高等学校御館校	H31. 2. 22	星 逸朗 委員 (使用者委員)	19名
6	県立白河第二高等学校	H31. 3. 12	坂路 芳知 委員 (労働者委員)	37名
7	県立テクノアカデミー会津	R1. 6. 12	二瓶 優子 委員 (公益委員)	41名
8	県立福島中央高等学校（定時制）	R1. 7. 9	石山 純恵 委員 (使用者委員)	20名
9	福島大学	R1.10. 2	吉高神 明 委員 (公益委員)	88名
10	県立湖南高等学校	R1.10. 31	坂路 芳知 委員 (労働者委員)	43名
11	県立梁川高等学校	R1.11. 8	大越 香代子 委員 (労働者委員)	33名
12	県立保原高等学校（定時制）	R1.11. 27	遠藤 和也 委員 (労働者委員)	58名
13	県立勿来高等学校	R1.11. 29	千歳 芳雄 委員 (使用者委員)	43名
14	桜の聖母短期大学	R1.11. 29	石山 純恵 委員 (使用者委員)	35名
15	学校法人東稜学園福島東稜高等学校	R1.12. 4	槇 裕康 委員 (公益委員)	116名

	学 校 名	年月日	講 師	受講者数
16	県立川口高等学校	R1. 12. 5	穴澤 耕二 委員 (使用者委員)	24名
17	県立テクノアカデミー浜	R1. 12. 6	大越 香代子 委員 (労働者委員)	50名
				計 993名受講

#### ワークルール出前講座の実施状況

	高 校	専門学校	大 学	その他	合 計
平成27年	7 1,196名	3 163名	3 89名	1 76名	14 1,524名
平成28年	7 876名	3 132名	3 283名	1 80名	14 1,371名
平成29年	12 1,472名	3 151名	4 392名	0 0名	19 2,015名
平成30年	14 1,375名	3 117名	2 58名	0 0名	19 1,550名
令和元年	13 779名	2 91名	2 123名	0 0名	17 993名

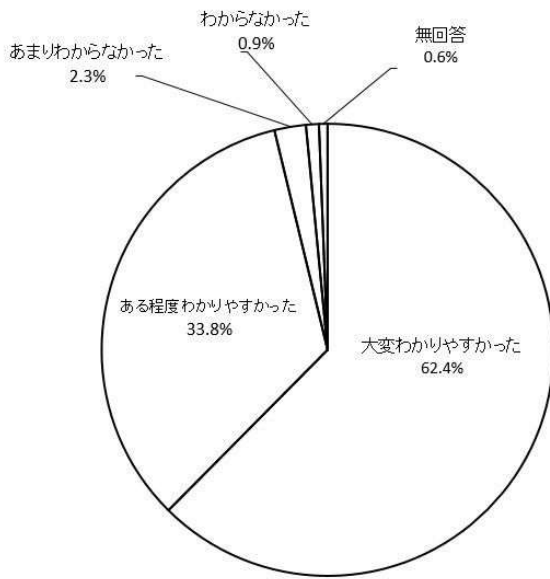
(注) 表中上段が実施回数、下段が受講者数となっている。

#### (2) アンケート結果

受講者アンケートでは、「大変わかりやすかった」が62.4%、「ある程度わかりやすかった」が33.8%と合わせて96.2%となっており、高い評価を得ている。

受講者からは、「弱い立場にある労働者が自分の身を守るためには知識を身に付ける必要があると感じた。」「今回の講義で学んだことを家族にも教えたいと思った。」「職場で起こりうるトラブルとその対処法を学べて良かった。」「今後働くうえで、何かで困った時は相談窓口にも相談したい。」などの感想が寄せられた。

[アンケート結果]



注 左グラフは、令和元年（平成31年）の全受講者数993名のうち回答があった977名における回答の割合を表す。

[ワークルール出前講座の様子]



県立梁川高等学校  
(R1. 11. 8 講師：大越委員)



県立保原高等学校（定時制）  
(R1. 11. 27 講師：遠藤委員)



学校法人東稜学園福島東稜高等学校  
(R1. 12. 4 講師：榎委員)



県立川口高等学校  
(R1. 12. 5 講師：穴澤委員)